

# 平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点      マスタープラン： 3つの挑戦      施策番号： 1-1      局・課名： 消防局・救急課

事業名	救急体制の拡充整備事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			57,430	61,501	64,284	
<b>【目的】</b> 救急救命士及び救急隊員の医学的知識・技術を維持向上並びに救急活動の円滑なる運用に資することを目的とする。  <b>【内容】</b> 平成27年7月、堺市立総合医療センター敷地内に併設した救急ワークステーションを救急救命士及び救急隊員の教育の拠点とし、救急隊への教育を強化するとともに、病院側と連携し病院前救護体制をより充実させるもの。 ・メディカルコントロール体制の充実強化(救急救命士及び救急隊員への医師による指示・指導・助言、救急活動の事後検証、病院実習を含む再教育など) ・災害拠点病院(堺市立総合医療センター)との連携強化 ・気管挿管病院実習派遣先病院の新規開拓 ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・認定救急救命士の養成(薬剤投与、気管挿管、ビデオ挿管、心肺停止前の重度傷病者への静脈路確保、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与) ・救急搬送と受入れの円滑化 ・まちかど救急ステーション事業の制度設計などの検討・精査  堺市立総合医療センターに併設した救急ワークステーションを拠点とし、救急救命士及び救急隊員教育として、救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、救急活動訓練、医師・看護師との合同研修会などを行い、顔の見える関係を構築し、連携を図るほか、確かな技術を習得し、救命率の向上につなげる。 平成29年度から指導救命士制度が開始され、堺地域メディカルコントロール協議会会長の指導・助言のもと、指導救命士による救急隊員教育を行っているが、今年度はその体制を強化し救急隊員全体の質の向上をめざす。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
			H ~ H			
	<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)			
	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等		
	救急活動事後検証等謝礼金等	3,292	3,652	救急活動事後検証に伴う医師謝礼金等		
	救急救命士養成等	24,017	24,992	救命士養成旅費、負担金等		
	救急安心センター運営負担金等	18,540	19,525	人口割及び財政規模割等により算出		
	救急ワークステーション運営負担金等	15,000	15,482	施設維持管理経費等		
	廃棄物処理・消耗品等	652	633	感染性廃棄物処理費用等		
	合計	61,501	64,284			
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>						
・救急ワークステーション設立・運用開始 ・救急救命士及び救急隊員の教育・訓練の充実強化 ・救急救命処置範囲の拡大への対応 ・救急救命士及び指導救命士の養成 ・災害拠点病院との連携強化 ・救急搬送と受入れの円滑化		<b>【30年度】</b> ・救急ワークステーションを拠点とした教育体制の充実強化(救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、医師・看護師との合同研修会の実施、救急活動訓練の実施など) ・指導救命士を中心とした救急隊員向けの教育体制の充実 ・救急救命処置範囲の拡大への対応 ・災害拠点病院との連携強化 ・救急搬送と受入れの円滑化		<b>【今後予定(31年度～)】</b> ・救急ワークステーションを拠点とした教育体制の充実強化(救急救命士病院実習、新規救急救命士の指導育成、医師・看護師との合同研修会の実施、指導救命士による教育など) ・救急救命処置範囲の拡大への対応 ・災害拠点病院との連携強化 ・救急搬送と受入れの円滑化		
<b>関連事業：</b>						